

科目名	特殊講義（ASEANの政治と経済B）	科目コード	1574	単位数	2
担当者名	坂口 可奈	開講セメスター	第4セメスター	開講年次	2年次
授業の方法	講義	実務経験	無		

● 授業のねらい

「アジア」とは北東アジアだけを示すのではない。国際社会においてASEAN（東南アジア諸国連合）諸国のプレゼンスは高まっている。本講義では、「東南アジアを学ぶ、東南アジアから学ぶ、東南アジアを通して学ぶ」姿勢を身につけるため、地域としての東南アジアを学んだあと、ASEAN諸国の政治と社会についての基礎を学ぶ。ただし、シンガポールについては別講義「シンガポールの政治経済」で扱うため、この講義では触れるだけにとどまる。

● 到達目標

- 1、幅広い視野と様々な視点から国際社会を分析できるようになる
- 2、世界とのつながりという観点からASEAN諸国の政治と社会を分析できるようになる
- 3、ASEAN諸国の多様性を理解する

● 授業内容

- 1週目 イントロダクション
- 2週目 ラオス
- 3週目 ミャンマー（独立ビルマへの道）
- 4週目 ミャンマー（民主化からクーデターまで）
- 5週目 マレーシア（民族の政治）
- 6週目 マレーシア（ポスト・マハティールの時代）
- 7週目 ブルネイ
- 8週目 インドネシア（独立からスハルトまで）
- 9週目 インドネシア（スハルト後のインドネシア）
- 10週目 タイ（クーデターと政治）
- 11週目 タイ（2017以降のタイ）
- 12週目 フィリピン（政治と社会）
- 13週目 フィリピン（OFWとフィリピン経済）
- 14週目 東南アジア時事問題（受講生の興味関心に基づいてテーマを決定する）
- 15週目 現代東南アジア情勢+試験
- 16週目 今後の学習にむけて（ただしやむを得ず15週目までの授業内容を実施できなかった場合は補講を行う）

● 準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

- 予習：1、毎日東南アジアに関するニュースにふれること
 2、事前に指定する課題に取り組むこと(1と2を合わせて2時間程度)
 復習：各自授業内容をノートにまとめること(1時間程度)

● 成績評価の方法・基準

- 期末試験70%
 リアクションペーパー30%

● 履修上の留意点

- 1、許可した場合を除いて、授業中にスマートフォン等は使用しないこと
- 2、出席登録後は授業終了まで退席は認めない
- 3、適宜グループ・ディスカッションやグループ・ワークを行う。受講生諸君の積極的な発言を期待する
- 4、ASEANの政治と経済Aの単位を取得済であることが望ましい

● 課題に対するフィードバックの方法

毎週の授業冒頭に、前週に課した課題に対してのフィードバックを口頭で行う
 試験に対してのフィードバックは最終授業の際に行う

● テキスト

特になし。毎週レジュメを配布する。

● 参考書

清水一史、田村慶子、横山豪志（編）『東南アジア現代政治入門[改訂版]』ミネルヴァ書房3000円
 中野亜里、遠藤聡、小高泰、玉置充子、増原綾子『入門 東南アジア現代政治』2500円

● 更新日付

2022/01/28 11:49